

(様式1)

校 種	④ ・ 中 どちらかに○	学校番号	1 7	学校名	宇都宮市立緑が丘小学校
-----	-----------------	------	-----	-----	-------------

平成29年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

実践を通して、自ら学び続ける力を身につけながら、心豊かにたくましく生きていく児童の育成

(2) 具体目標 (具体的な児童生徒像など)

- 自分をつくり自立する子 (生きる力)
- ・ 友達をつくり力を合わせる子 (社会性)
 - ・ 豊かな心をつくる子 (感受性・主体性)
 - ・ 丈夫な体をつくる子 (意欲・気力・体力)
 - ・ 確かな考えをつくる子 (課題解決力)

2 学校経営の理念

テーマ 「地域社会に根ざしたこれからの学校づくり～家庭・地域社会との相互連携による、生きる力をはぐくむ教育の推進～」

目標や課題の明確化・重点化・共有化を図り、一貫性のある教育活動を展開して、生きる力をはぐくむ教育を推進するとともに、適材適所の役割分担と課題解決への取り組み体制の工夫により、校内体制の活性化、強化を図り、教育目標の確実な具現化に努める。また、地域協議会や地域学校園を中心として家庭や地域社会との相互連携による教育をさらに推進して、取り組みの効果を高めながら、児童の教育を通して地域社会にも貢献する。

3 学校経営の方針

- (1) 知・徳・体のバランスを大切にし、確かな学力、豊かな人間性、健やかな身体など、「生きる力」をはぐくむ教育を推進する。
- (2) 教育目標の達成を目指し、一貫性のある教育活動を展開する。
 - ・ 目標及び課題の明確化、重点化、共有化、評価の工夫
- (3) 児童の実態及び学校や地域社会の実情等を踏まえ、指導の重点化を図った成果の見える取り組みを展開する。
 - ・ 「頑張る学校プロジェクト」予算の効果的な活用
- (4) 教職員一人ひとりが目標を共有し、学校経営への参画意識を高めて、それぞれの立場から課題解決に向けて主体的に考え、実践する組織づくりに努める。
 - ・ 教職員一人一人の長所を生かす校内体制の工夫と教職員評価の効果的な実施
- (5) 組織体制の強化を図り、課題や問題、事故等に対しては、組織的な対応に努める。
 - ・ 校務運営委員会、学年会、児童指導対策委員会、特別支援教育委員会等の充実
- (6) 小中一貫教育地域学校園の実施に伴う組織間の一層の連携強化

「陽南地域学校園教育ビジョン」

地域に根ざした豊かな心を育む小中一貫教育 ～子どもの自主的な活動を通して～

- (7) 開かれた学校づくりを推進し、共通の課題意識に基づく家庭・地域社会との連携による教育を推進する。
 - ・ 活性化された魅力ある学校づくり地域協議会との連携強化
 - ・ 各種たより、HP等による積極的な情報発信・授業参観・オープンスクールの改善

4 今年度の重点目標 (「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○)

(1) 学校運営

- 「明るいあいさつ・楽しい学校」をスローガンに家庭・地域と連携し、人と関わる楽しさや学ぶ楽しさ等を実感できる学校づくりに教職員一人一人が主体的に取り組む。

(2) 学習指導

「学び合い、ともに育つ」～子どもが主体的に学ぶ授業を目指して～

- ・習熟度別学習やグループ学習等を通して、基礎・基本の確実な定着を図る。

○・自分の考えをはっきりと示し、話し合いなどの集団の学びを通して思考を高める。

(3) 児童生徒指導

○・集団生活における規範意識の育成と、思いやりの心をもって協力できる児童の育成に努める。

- ・児童の特性やよさを認め、励まし自己肯定感や有用感を高めるとともに、たくましさを育成する。

(4) 健康（保健安全・食育）・体力（元気アップ教育に係る取組を含む）

- ・自分の心や体の様子に関心をもち進んで体力向上に努め、健康・安全に生活しようとする児童を育成する。

5 学習指導、児童生徒指導、健康（保健安全・食育）・体力に関する取組

※ 様式2～4 参照

6 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

- ・地域に関わる学習や様々な体験活動を通して積極的に人と関わり、地域や自他のよさに気付き、互いを認め尊重する心を育む。
- ・思いやりの心としっかりした価値観をもって、よりよい方向を目指し主体的に行動する。

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」関連には、文頭に◇）

① 人とのかかわる活動を充実する。

◇ア 縦割り班・異学年交流活動の充実（みどりタイム・みどりつ子集会・総合的な学習等）・グループ活動の積極的な導入

◇イ 生活科や総合的な学習等を通じた地域とかかわる体験活動の充実

◇ウ あいさつ運動の推進（PTAや地域協議会との連携）

エ 道徳の時間を核として、生命や人権を尊重し、思いやりをもって接するなど豊かな心の育成

② 児童自らが健康・体力づくりに努める活動を充実する。

ア 担任・養護教諭・学校栄養職員の相互連携による健康指導・食育指導の充実

◇イ 外遊びの励行、縄跳び等各種検定の活用や校内ドッジボール大会など各種校内大会の実施

③ 日常の学習活動の充実を図り、児童に学ぶ楽しさを実感させ、意欲の向上を図る。

◇ア 一人一授業の公開、研究協議の充実による教師の授業スキルの向上

◇イ 学び合い活動や課題解決的な学習の積極的な導入、言語活動の推進

ウ 特別支援教育への理解を深め、**児童の特性に配慮した指導の充実**

④ 家庭や地域との連携による教育を推進する。

ア 家庭学習の習慣化 イ 学校と家庭、地域との目標の共有化促進 ◇ウ 各種ボランティア活動への協力

⑤ 特別支援教育の充実を図る。

ア 配慮を要する児童の理解と専門機関との連携・協力 イ かがやきルームの利用・充実

7 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む」）

① 魅力ある学校づくり地域協議会組織の活性化を図り、学校課題を共有し改善のための理解と協力を得る。

② 主な取組

ア 学校支援ボランティアの積極的な導入と充実 イ 開かれた学校づくりの推進（授業参観、オープンスクール、工夫改善、各種たよりやHPの充実） ウ 地域教材、人材を活用した地域学習の充実

(2) 小中一貫教育・地域学校園

① 地域学校園の小中学校教職員の相互理解を深め、地域学校園教育ビジョン実現に向け、効果的な取組を推進できるようにする。

② 主な取組

ア 児童の主体的な活動や言語活動等を通して、コミュニケーション能力の育成を図る。 イ 小中学校の継続的指導により、道徳の時間の充実と道徳性の育成を図る。 ウ 小中連携のあいさつ運動を実施し、あいさつの習慣化と規範意識の向上を図る。 エ 乗り入れ授業や教科部会を通して、学習上の課題を共有し指導することで学力の向上を図る。